



中国 28 内陸部電話網拡充事業

A
B
C
D

中国内陸部の6省自治区において、市内電話通信網の拡充・近代化により、逼迫している通信事情の緩和と将来の需要増大への対応を図り、もって投資環境の整備による経済発展の促進に寄与する。

承諾額/実行額	150億300万円/134億8,200万円
借款契約調印	1996年12月
借款契約条件	金利2.3%、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイド
貸付完了	2002年6月
実施機関	信息产业部



外部評価者 岸野 優子(アイ・シー・ネット(株))
現地調査 2004年10月

評価結果

本事業では、一部の省・自治区で技術革新や最新の需要調査等に基づき当初計画が調整されたことを除き、ほぼ計画通りに市内交換機や光ファイバーケーブル伝送路等が整備された。当初計画の変更に伴う調整や、契約までの手続きの遅延、悪天候(大雪、砂塵)等により、期間は計画を大幅に上回ったが、事業費は計画を下回った。

本事業によって、貴州省の固定電話加入世帯数は、1995年の28万戸から2003年には332万戸に増加するなど、各省・自治区において6~12倍の伸びを示している。また、電話普及率についても、各省・自治区において当初計画を上回っている。

固定電話加入世帯数の増加は、インターネットの普及にも貢献しているものと考えられ、内蒙古自治区においては、インターネット利用者数が97年の3,800戸から01年の

161万戸へと大幅に増加している。受益者調査では、固定電話加入後は「電話利用のために外出する必要がなくなる」など時間節約効果が確認されたほか、8割以上から、「家族や友人とのコミュニケーションが促進される」など生活習慣の改善効果が確認された。

運営・管理を担当している中国電信、中国網通の技術、体制、財務面について問題はない※。

※ 南の21省自治区は中国電信、北の10省自治区は中国網通の管轄。

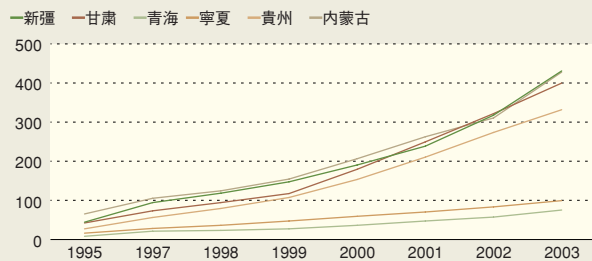
第三者意見

内陸部における通信網の整備は、現在においても優先度が高く、本事業の妥当性が認められる。持続性の観点からは中国電信・中国網通の貧困地域の支社の財務状況改善が課題である。

有識者 Ms. Feng Yifei (マスコミ)

外交学院学士(外交)、山西師範大学学士(英語学・英文学)。現在、チャイナ・ニューズ・ウィーク記者。専門は米国と東アジアの国際関係。

固定電話加入世帯数の推移



本事業により局用交換機容量が増えたことに加え、加入時の据付料金、通話料金、基本料金が値下げされたことや通信サービスの質が向上したことも固定電話加入世帯数増加の要因と考えられる。

受益者調査の結果

本事業により時間節約効果や生活習慣の改善効果が確認されたほか、通話の質の向上や回線の安定等を理由に、回答者の83%が「現在の通信サービスに満足している」と回答しており、本事業が地域住民の利便性の向上に貢献したことがわかる。

